

科目名	看護薬理学Ⅱ (循環器・血液・呼吸器・消化器系・泌尿器・生殖器系・物質代謝に作用する薬物)					DP4 DP5	看護高等課程
学年	1 年	分野	専門基礎薬理	時間数	25 時間	担当教員	大江 佑加子
科目概要	臨床看護の場において薬物治療に携わるためには、臨床薬理学の知識が必要である。各系統別作用薬についても知り、基礎的知識を深める。さらに、在宅療養を支える居宅療養管理指導での薬物管理の実際と多職種連携について考えられる内容とした。						
到達目標	1. 循環器・血液・呼吸器・消化器系・泌尿器・生殖器系・物質代謝に作用する薬物について理解することができる。 2. 在宅療養を支える居宅療養管理指導の実際から多職種連携について考えることができる。						
回数	単元項目			授業内容		形態	担当教員
1～12	代謝系・内分泌系に作用する薬物 第1編 第4章 代謝・内分泌疾患 第2編 第3章			糖尿病治療薬、脂質異常症に用いられる薬剤 高尿酸血症の治療薬、骨・カルシウム代謝薬 甲状腺疾患治療薬、性ホルモン製剤 そのほかの内分泌系薬物・代謝異常症に用いられる薬物、看護のポイント		講義	大江
	循環器系に作用する薬物 第1編 第6章 循環器疾患 第2編 第5章			降圧薬、狭心症治療薬、抗不整脈薬、心不全治療薬、 狭心症、高血圧症、看護のポイント			
	血液・造血器官に作用する薬物 第1編 第7章 血液・造血器疾患 第2編 第6章			貧血、造血薬（抗貧血薬）、抗血栓薬、止血薬 輸液・栄養製剤、ビタミン・血液製剤、貧血、看護の ポイント			
	呼吸器系に作用する薬物 第1編 第8章 呼吸器疾患 第2編 第7章			気管支喘息治療薬、気管支拡張薬、去痰薬・鎮咳薬 呼吸障害改善薬、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、 看護のポイント			
	消化器系に作用する薬物 第1編 第9章 消化器疾患 第2編 第8章			胃・十二指腸潰瘍治療薬、消化管運動機能改善薬・制 吐薬、腸疾患治療薬、下剤、肝・胆道・膵疾患治療 薬、胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、慢性肝炎 看護のポイント			
	泌尿・生殖器系に作用する薬物 第1編 第10章 腎・泌尿器疾患 第2編 第9章 女性生殖器疾患 第2編 第10章			利尿薬、そのほかの泌尿・生殖器作用薬、子宮収縮 薬、慢性腎臓病、前立腺肥大症、不妊症、更年期障 害、看護のポイント			
	消毒薬 第1編 第12章			消毒薬の分類と対象微生物、消毒薬の用法			
	漢方薬 第1編 第14章			漢方薬における証、漢方薬使用上の注意点、漢方薬の 適応疾患			
13	感覚器疾患 第2編 第12章			皮膚（褥瘡）、眼科疾患（緑内障・白内障）、耳鼻咽喉 科疾患（メニエール病）、看護のポイント		試験	
	試験			(1 時間)			
評価基準	100 点満点とし、6 割以上を合格とする。また、授業時間数の 3 分の 2 以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	看護学入門 3 栄養 薬理 (副読本) Pocket Drugs 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の 注意点							